教科	科 目	単位数	学年・クラス
国語	文学国語	2	3年1組

1 使用教材

使用教科書	高等学校 標準 文学国語
出版社	第一学習社
副教材等	-
出版社	-

2 学習の目標

1 様々な文章を読む能力を高め、ものの見方、感じ方、考え方を身に付ける。
2 目的や場に応じた話し方や言葉遣いができる表現力を身に付ける。
3 課題に応じて、情報を活用したり話し合ったりする能力を身に付ける。

3 評価の規準・観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解している。
② 思考・判断・表現	文書の構成や表現に注意して、筆者の主張や作品の内容を理解することで自分の考えをまとめたり、深めたりして、相手や目的に応じて筋道を立てて分かりやすく表現することができている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	国語や文学作品に対する関心を持ち、国語を尊重するとともに、進んで表現したり理解したりして、国語力を高めようとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
学習態度	B	A	A	授業態度など
課題提出	B	A	A	指示した時期に提出
ノート提出	B	A	A	指示した時期に提出
定期考査	A	B	C	定期テスト、課題テスト

※表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	随想（芸術） 「真珠の耳飾りの少女」 読み比べ 「フェルメールの技を読む」 現代の小説（三） 「旅する本」	フェルメールの絵画を紹介する文章を読んで、読み手の関心を引きつけるための工夫について考える。 対談形式の文章から、話者のフェルメールに対する向き合い方の特徴を読み取り、「真珠の耳飾りの女」との違いを考える。 自身の経験を結び付けながら本文を読み、「私」の心情変化を的確に読み取る。
2 学期	近代の小説（一） 「こころ」 戦争と文学（一） 「わたしが一番きれいだったとき」 「死んだ男の残したものは」	物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむ。 詩の構成の意図を考え、過去と後半生に対する「わたし」の心情をつかみ、詩の主題を理解する。 ベトナムの平和を願う反戦詩として書かれた背景をふまえ、作品に託された思いを読み取る。
3 学期	創作をする 物語を創造する〈物語を 発現する力〉	物語を創作し、他者の作品を鑑賞することで多面的な視点を養う。互いの批評において、物語の構成を整え、独創性を高め合えるような話し合いを行う。